

事業計画書様式

1 様式1

(施設概要、指定管理者概要)

2 様式2

(公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）、本年度の基本的な管理運営方針（ミッション）、運営業務の実施計画・取組、管理運営体制、人員の配置と研修計画（人員体制表、勤務体制表、人員体制の考え方・職能等、職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について）)

3 様式3

(利用者サービスの向上・利用促進策、広報・プロモーションの取組、市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成、災害時の緊急対応、安全対策・防犯対策、苦情・要望への対応・不法行為対策について、本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮、個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消)

4 様式4

(公園の維持管理の基本方針、公園施設・設備の維持管理、公園施設・設備の修繕計画、樹木・植栽等の管理、巡視・清掃)

5 様式5

(無料事業実施計画一覧（自主事業含む）、有料事業実施計画一覧（自主事業含む）)

6 様式6

(業務の第三者委託一覧)

7 様式7

(収支予算書（指定管理事業のみ）)

8 様式8

(運営目標)

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	岸根公園
所在地	港北区岸根町 725
公園面積、公園種別	140,587 m ² 、運動公園
主な施設	野球場、少年野球場、芝生広場、池、駐車場
特徴	昭和15年に防空緑地を兼ねた総合運動場施設を持った公園として計画されました。戦時中に整備中断。戦後は米軍に接収され、昭和45年に一部返還され整備を再開、昭和46年に一部竣工し、運動公園として公開されました。昭和48年に全面返還され新たに軟式野球場、芝生広場、運動広場等を整備し、公開されました。
公園開園日	昭和46年4月1日

2 指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人横浜市緑の協会
代表者名	理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通 58 番地
指定管理期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成21年4月1日

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

岸根公園の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン（管理期間中の目標）「子どもたちの歓声とみんなの笑顔があふれる公園づくり～世代を超えて愛され、暮らしを支える地域の緑～」の達成に向けた着実な管理運営に取り組みます。

当公園は、「緑あふれるオープンスペース」、「野球場をはじめとしたスポーツ施設」、「子どもから大人まで多くの利用」、及び「市の重要な防災拠点」などの特性を踏まえ、子どもから大人まで、多様な世代に愛され、憩い、にぎわう、安全・安心な公園の実現に向けて、地域の皆様とともに管理運営に取り組みます。

2 基本的な管理運営方針（ミッション）

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた3つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

- ・ミッション1 緑・自然とふれあい、憩える公園の創出
- ・ミッション2 利用目的に応じて楽しく過ごせるサービスの提供
- ・ミッション3 地域との協働による安全・安心な公園づくり

3 運營業務の実施計画・取組

今年度の管理運営方針を実施するための取組

(1) ミッション1 緑・自然とふれあい、憩える公園の創出

ひょうたん原っぱをはじめとする草地のオープンスペースや特徴的な樹木などによる景観を、安全・安心に維持していくため、計画的できめ細やかな植物管理に取り組みます。

また、市民の皆様が緑・自然とふれあえる学びの機会を創出します。

(2) ミッション2 利用目的に応じて楽しく過ごせるサービスの提供

野球、健康づくり、ピクニック、学校遠足など、様々な利用者層・利用目的に対応した、きめ細やかなサービスを提供します。

(3) ミッション3 地域との協働による安全・安心な公園づくり

地域交流や憩いの場としての機能向上に取り組みます。また、災害への備えや、公園に関わっていただく方々へ門戸を広げ、地域の皆様の活躍の場としていきます。

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

職種	人数(名)	役割
園長（施設長）	1	責任者
副園長（副施設長）兼事務スタッフ	1	統括補佐、副責任者、運営管理
園地リーダー（職員）	1	施設管理、維持管理
園地スタッフ（職員）	1	施設管理、維持管理
園地スタッフ（パート）	4	施設管理、維持管理
受付スタッフ（パート）	4	有料施設の受付

(2) 勤務体制

職種	主な業務内容	勤務日(目安)
園長（施設長）	公園の統括、事業・予算管理、人材育成	週5
副園長（副施設長）兼事務スタッフ	統括補佐、運営管理	週5
園地リーダー（職員）	園地スタッフの統括、施設管理、園地管理	週5
園地スタッフ（職員）	施設管理、園地管理	週5
園地スタッフ（パート）		週4
受付スタッフ（パート）	有料施設の受付	週2～4

勤務体制は5～9名を基本とし、繁忙日は増員するなど、柔軟に対応します。

(3) 人員体制の考え方・職能等

- ・園長は、施設の管理運営、予算管理やスタッフの指導・育成など公園全体をマネジメント、また、防災士の取得者
- ・副園長は、園長を補佐するほか、庶務、経理、労務などの事務を処理、広報や自

主事業を企画立案・実施、また、上級救命講習の受講者 ・園地リーダーは、園地スタッフをマネジメント、多様な植栽管理の知識を活かした維持管理、園内の自然の案内などを実施 ・園地スタッフは、多様な植栽管理の知識を活かした維持管理、園内の自然の案内などを実施 ・受付スタッフは、有料施設の受付などを実施
(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について 「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。 ・研修は、①利用者対応・サービス、②園地管理作業、③マネジメント関係をテーマに実施 ・目標管理制度、職員表彰制度の運用

(事業計画書様式3)

1 利用者サービスの向上・利用促進策

(1) 花と緑による魅力づくりと多様な媒体を活用した発信 花の見どころを創出・拡充し、国際園芸博覧会の機運を醸成します。 花や緑への興味を持ち、自然を大切にする気持ちを深めていただくよう取り組みます。 (2) 自然とのふれあいを体験できる機会の提供 草地や樹木、池などの多様な自然環境を活用した取り組みを実施します。 (3) 緑の中で健康づくり！岸根ネイチャーアクティビティ ひょうたん原っぱの開放的な空間を活用し、市民の皆様の健康づくりをサポートします。 (4) 野球場を活かしたスポーツ振興、利用促進 子どもたちの健全な成長や、地域スポーツ人口の拡大、将来の野球場の利用者拡大を図るための取り組みを実施します。 (5) 多世代で楽しく過ごせる環境づくり 親子、小学生、高齢者などの多様な世代に合わせた利用者サービスを提供します。 (6) 利用者満足度アンケートの実施

2 広報・プロモーションの取組

(1) インターネットメディアに対応した広報 ・ホームページ、ブログ、SNS (2) 地域と連携した広報、情報発信 ・公園だよりの発行、イベントチラシの配布、広報よこはまへの情報掲載、メディアへの情報提供、地域連携による情報提供と周知、メッセージボードを活用した情報発信 (3) 花と緑の情報発信 ・春の花図鑑のホームページへの掲載 ・生き物観察会や生物の情報発信
--

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

- (1) 地域に貢献し、地域の皆様の安全安心を守る公園づくり
 - ・市民参加型の災害時対応訓練、市民参加型の救命訓練、愛犬マナー・防災対策教室、地域防災拠点運営委員会への参加、交通安全教室、防犯教室
- (2) 地域の皆様が活躍する公園管理の推進
 - ・青空マルシェ、パーククリーンデー、清掃ボランティア、花壇の花植え・水やり、職業体験の受入れ、近隣学校施設などへの情報提供
- (3) 地域とともにつくる市民協働イベントの開催
 - ・公園感謝 DAY

4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献

- (1) 高齢者の健康増進・交流促進の取組
 - ・青空ヨガ、ウォーキングルートマップの配布、ボランティア活動の実施
- (2) 子育て世代に魅力的な公園への取組
 - ・親子体操教室、落葉プール、紙芝居の実施
 - ・親子で憩えるよう、おもちゃ・ベビーグッズの貸出、授乳スペースの提供
- (3) 高齢者や子どもたちの安全を守る！地域の防犯、防災への取組
 - ・防犯教室、交通安全教室の実施
 - ・市民参加型防災訓練・市民参加型災害時訓練の実施
- (4) 地域経済活性化への取組
 - ・地域人材の活用、横浜市グリーン事業協同組合の活用、市内中小企業の優先的発注

5 災害時の緊急対応

- (1) 災害対策
 - ・「災害対応マニュアル」を整備し、災害の状況に応じた配備体制の構築
 - ・情報受伝達、非常時参集、防災訓練等の実施
 - ・防災備蓄品の用意
 - ・地域防災拠点委員会への参加
 - ・篠原池の排水溝スクリーンの定期的な清掃
- (2) 災害発生時の対応
 - ・連絡体制や職員参集・宿直等の対応体制の構築
 - ・気象警報や大雪、台風、震度5以上の地震発生後、特別巡視の実施
 - ・広域避難場所、飛行場外離着陸場、物資集配拠点としての対応

6 安全対策・防犯対策

- (1) 安全対策
 - ・AED の設置と設置場所の掲示

- ・気象注意報（光化学スモッグ注意報・熱中症警戒アラート等）発表時の注意喚起
 - ・危険な生物（ハチ、チャドクガなど）の防除
 - ・巡視・点検の徹底による事故・火災防止、初期消火機器取扱いの習得
- (2) 防犯対策
- ・夜間対応のコールセンターの設置
 - ・暗がりや死角の見通しに配慮した樹木の剪定
- (3) 維持管理作業での対応
- ・複数名による作業の実施
 - ・草刈作業は、小石の飛散防止シートでの養生または作業範囲の立入禁止措置の実施
 - ・車両での園内走行時は、ハザードランプ点灯と徐行
 - ・作業機器取扱い者は、安全衛生教育を受講
 - ・墜落制止用器具、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備着用の徹底
- (4) 熱中症対策
- ・熱中症予防情報の園内放送、クールスポットの設置

7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

- (1) 愛犬マナー向上
- ・愛犬マナー・防災対策教室などの開催、愛犬マナーグッズ配布、声掛け
- (2) 園内の自転車通行
- ・交通安全教室の開催、近隣保育園等へのポスター掲示などの啓発活動、自転車走行への声掛け、注意看板設置、園内放送、自転車マナー普及の啓発強化期間の取り組み、風船配布などによる啓発など
- (3) 違法駐車
- ・土日祝日の警備員配置、満車時の周辺駐車場の案内チラシ配布、県立武道館との連携による公共交通機関利用の呼び掛け、少年野球場の管理運営委員会と連携による注意喚起
- (4) その他
- ・バットや硬球を使ったキャッチボール、ドローンの利用、ゴルフの練習など周囲に危険を及ぼす行為については、利用指導を行うほか、必要に応じて禁止看板の設置

8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

- (1) 国際園芸博覧会、横浜市 SDGs 未来都市計画等への貢献
- ・国際園芸博覧会 PR ガーデン設置、青空マルシェによる地産地消の推進
- (2) 「横浜市温暖化対策実行計画」など温室効果ガス削減への取組
- ・グリーン電力（高圧）や再エネ 100%電力（低圧）の導入
 - ・園内発生材の活用による廃棄物の抑制（たい肥化・落ち葉プールなど）
 - ・電気使用料の節減（空調、照明、OA 機器等の節電、グリーンカーテン）
- (3) 市内中小企業優先発注
- ・横浜市中小企業振興基本条例に基づく公園管理業務の市内中小企業への発注

9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

(1) 個人情報保護・情報公開

- ・個人情報保護は、当団体の個人情報保護方針、個人情報保護規程に基づき管理
- ・情報公開は、情報の公開に関する規程に基づき対応
- ・個人情報保護研修の実施

(2) 人権尊重・障害者差別解消

- ・人権啓発研修（障害者差別解消も取り扱う）の実施
- ・ウェブアクセシビリティに対応したウェブサイトの運用
- ・コミュニケーションボードや筆談ボードの設置
- ・車いすの貸出や補助犬の受入

（事業計画書様式4）

1 公園の維持管理の基本方針

これまでの経験を活かし、岸根公園の魅力ある空間をより価値あるものにするため、確かな知識と技術を伴った維持管理に取り組み、地域の皆様に愛される公園づくりに努めます。

2 公園施設・設備の維持管理

(1) 野球場

ア 日常整備

- ・開場前の場内清掃、ライン引き、不陸整正、照明の点検試験、安全確認

イ 定期整備

- ・不陸整正・転圧、排水口清掃、草刈、付帯施設の保守点検

ウ 冬期整備

- ・グラウンドレベル測定、耕うん・転圧、マウンド整備など全面的な整備

(2) 遊具

- ・定期点検（通常年3回、詳細年1回）、月例点検（月1回）、精密点検（年1回）の実施
- ・スタッフに遊具点検研修の実施

(3) 管理詰所

- ・日常点検、定期点検、施設管理者マニュアルに基づく建物点検（年1回）の実施
- ・臭気発生時の污水管清掃（随時）の実施

(4) 公園内の工作物の維持管理方法

- ・ベンチ、水飲み、フェンスなど公園内の工作物を点検
- ・異常を把握し、適切な修繕、必要に応じて使用禁止措置
- ・各設備の点検 電気工作物 12 回、園内灯設備 1 回、放送設備 1 回、消防設備 2 回、夜間照明施設 1 回の実施

3 公園施設・設備の修繕計画

(1) 予防保全型管理と修繕

- ・定期点検や精密点検により劣化状況を把握し、優先度を評価し、予防的に修繕

(2) 事後保全型管理と修繕

- ・日常巡視や点検などによりベンチや園路などの異常を把握し、随時修繕

4 樹木・植栽等の管理

(1) 国際園芸博に向けた花と緑の魅力づくり

- ・国際園芸博覧会 PR ガーデンの管理
- ・ウェルカムガーデンの管理

(2) 岸根公園 50 周年で地域と育んできた花や緑の継承

ア ソメイヨシノ（篠原池付近）

- ・露出した根の周囲の土留めや盛り土の実施
- ・定期的な巡視点検・樹木医による診断・治療
- ・枝枯れ、胴枯れを防ぐため、交錯枝や枯枝の除去

イ ヨコハマヒザクラ（ひょうたん原っぱ）

- ・公園利用者への紹介
- ・定期的な巡視点検、樹木医による診断・治療

ウ ウメ

- ・花を多く咲かせるための間引き剪定
- ・林床保護のため、マルチング材での土壌改良
- ・樹勢回復のため、根回りの下草の除去と施肥

エ バラ花壇

- ・薬剤に頼らない予防的防除として病葉の摘み取り
- ・適期の剪定や施肥、病虫害防除

(3) 草地

- ・大型機械の使用による作業時間の短縮
- ・表面温度の上昇を抑制するため、夏場は刈り高を高めに刈込
- ・土壌改善のため、固くなった草地のエアレーション
- ・表土流出防止のための土留めや粗朶柵の設置、多年草の補植

(4) シンボルツリー（ユリノキ、サクラ）

- ・定期的な巡視点検、樹木医による診断・治療

(5) 展望広場の樹木

- ・見通しを改善するため、高中木の透かし剪定、低木の切り下げ

(6) 植栽帯

- ・林床の日照を確保するため、常緑樹の間引き剪定、丁寧な枝抜き
- ・暗がりや死角を減らすため、下枝の切り上げ
- ・アジサイなど日陰に強い植物の新植

- (7) 篠原池
- ・生き物の生息に配慮するため草刈時期や範囲の調整、一部の刈り残し
 - ・保護区域内への不要な立入りの制限
 - ・水質改善のため、循環ポンプ再稼働に向けた取り組み
 - ・花壇やプランターなどの設置
- (8) ナラ枯れ対策
- ・枯損が進み回復困難な樹木の順次伐採
 - ・被害の拡大防止のため必要に応じたカシナガブロックの使用

5 巡視・清掃

- (1) 巡視
- ・日常巡視・点検を1日2回実施
 - ・特別巡視を気象警報解除後、震度5弱の地震発生後に実施
- (2) 清掃
- ・日常清掃のほか大雨や落葉時、台風後、汚損などの状況に応じた臨時清掃を実施

(事業計画書様式5)

無料事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	内容（募集人数等）	新規	実施時期	回数
● 利用者サービスの向上・利用促進策					
(1) 花と緑による魅力づくりと多様な媒体を活用した発信					
1	国際園芸博覧会 PR ガーデン	中央広場に設置した園芸博 PR 花壇を活用し、国際園芸博覧会の機運を醸成。市民ボランティアと連携し花植えなどを行い、子どもたちに花や緑への興味を喚起		春・秋	2
2	ウェルカムガーデンの設置	管理センター前に市民の皆様と設置したガーデンネットワークス花壇を、ウェルカムガーデンとして拡充		春・秋	2
3	花壇で彩る岸根公園	園内8カ所に設置した花壇を継続し、ボランティアや保育園、支援学校などとの協働で、季節の花で彩る		通年	随時
4	花と緑の情報発信(春の花図鑑)	ホームページと園内に設置する大型看板で、花木の情報や開花情報、植栽場所などを紹介		通年	随時
5	ボランティア・スタッフによる写真展示	ボランティアやスタッフが撮影した、園内の美しい四季の景観や池に飛来する野鳥の写真を展示		通年	随時
6	サクラマップの配布	ヨコハマヒザクラをはじめ園内のサクラの樹種や植栽場所を明示したマップを配布		春	2

7	樹木ガイドマップの配布	散策の楽しみ、植物への興味関心につなぐため園内の代表的な樹木の名前と位置を紹介するマップを配布		通年	随時
8	季節の装飾	園内の発生材を活用し、季節ごとのテーマに合わせたスタッフの手作り作品を管理センターに展示		通年	8
(2) 自然とのふれあいを体感できる機会の提供					
9	自然体験型ワークショップ	市民及び支援学校、障害者支援団体など地域団体との協働で、樹名板作成・設置、グリーンカーテンなど園内を花と緑で彩るワークショップを実施		随時	4
10	工作教室	剪定枝など園内の発生材や木の実を使い、自由な発想で物を作り出す楽しさを体験できる教室を実施		夏	3
11	生き物観察会	篠原池に生息する水辺の生き物を観察し、生き物同士のつながりを知り、命の大切さを学ぶ機会を提供		春・秋	3
12	どんぐり実物展示	知識・興味を深めるため、子どもたちに人気のどんぐりの種類や実る場所を管理センターに展示		秋	随時
13	生き物の飼育展示	生き物への興味を深めてもらうため、園内の昆虫や魚を管理センターに展示		通年	随時
(3) 緑の中で健康づくり！岸根ネイチャーアクティビティ					
14	ウォーキングクイズラリー	公園の緑に関するチェックポイントを設置し、来園者が楽しめるクイズラリーを公園感謝 DAY で実施		秋	1
15	凧あげ体験	凧あげを体験するイベントを実施		1月	1
16	チェアリングサービス	アウトドアチェアを貸し出し、園内でくつろぐ機会を提供		通年	随時
(4) 野球場を活かしたスポーツ振興、利用促進					
17	野球場無料開放サービス	小学生とその家族を対象に無料開放し、キャッチボールやトスバッティング等イベントコーナーを設置		春・夏	2
18	トスベースボール大会	小学校低学年向けの野球大会を開催		春	1
19	野球グッズの貸出し	野球場の利用者サービス向上のため、スピードガン、グローブ、ボールを貸出		通年	随時
(5) 多世代で楽しく過ごせる環境づくり					
20	公園で楽しむアート鑑賞・ワークショップ	トラック型の移動ギャラリーを使った出張展示やワークショップを実施し、アート作品を公園で鑑賞、体験する機会を提供		春・秋	2
21	オープンエアレストハウスの設置	管理センター周辺にテーブルとイスを配置し、利用者の皆様が憩えるスペースを提供		通年	随時

● 広報・プロモーションの取組					
22	公園だよりの発行	季節の植物の見どころやイベント情報を紹介する広報紙を作成し、園内掲出、自治会町内会などへ配布		通年	4
23	メッセージボードを活用した情報発信	開園 50 周年記念として設置した大型メッセージボードを活用し、国際園芸博覧会の関連情報や、園内の見どころ、イベント情報などを発信		通年	随時
● 市民協働の取組・市民主体の活動の支援、地域人材育成					
(1) 地域に貢献し、地域の皆様の安全安心を守る公園づくり					
24	愛犬マナー・防災対策教室	区生活衛生課と連携し、愛犬の散歩マナーや大地震発生時のペットの扱いを学ぶ教室を開催		秋	1
25	地域防災拠点運営委員会への参加	本公園への広域避難の対象となっている区域の地域防災拠点運営委員会に参加し、発災時対応などを共有		通年	3
(2) 地域の皆様が活躍する公園管理の推進					
26	青空マルシェ	障害者地域作業所で育てた農産物・花苗の販売		春・秋	2
27	パーククリーンデー	地域住民の皆様と連携し、落ち葉のシーズンなどに園内清掃イベントを実施		通年	4
● 地域課題を踏まえた事業提案、地域活性化への貢献					
(1) 高齢者の健康増進・交流促進の取組					
28	ウォーキングルートマップの配布	ウォーキングのルートや健康遊具の位置・機能を記載したマップを配布、園内にサインを掲示		通年	随時
(2) 子育て世代に魅力的な公園への取組					
29	親子体操教室	未就学児の親子を対象に、自然の中で気持ちよく体を動かす教室を開催		春・秋	2
30	落ち葉プール	子どもたちが落ち葉の感触や匂い、音などを体感できるよう落ち葉を敷き詰めたビニールプールを設置		秋	1
31	紙芝居おじさん	昔ながらの紙芝居の上演		不定期	随時
32	おもちゃ・ベビーグッズの貸出し	フラフープ、竹とんぼ、砂場遊びセットなど家族連れに遊具を貸出		通年	随時
33	授乳場所の提供	授乳スペースとして未使用時の会議室を提供		通年	随時
(3) 高齢者や子どもたちの安全を守る！地域の防犯、防災への取組					
34	防犯教室	近隣保育園児を対象に、警察署のスクールサポーターと連携し、犯罪に巻き込まれないための教室を実施		秋	1
35	交通安全教室	警察署と連携して交通安全教育車を誘致し、自転車などの交通安全について学ぶとともに、園内の自転車走行禁止についても普及啓発を実施		秋	1

36	市民参加型の災害 時対応訓練	消防署と連携し、起震車などを活用した地震や火災 の疑似体験を通して、災害時に取るべき行動を習得 する訓練を実施		11月	1
37	市民参加型の救命 訓練	消防署や赤十字と協力し、AEDの操作方法を習得する訓 練を実施		11月	1
● その他					
38	「よこはま緑の街 づくり基金」募金 箱設置	市内の緑化推進や環境保護等に寄与する募金活動を 実施		通年	通年

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施 時期	回数	自主事業予算額(円)	
						総経費	収入
● 利用者サービスの向上・利用促進策							
(2) 自然とのふれあいを体感できる機会の提供							
1	ツリークライ ミング体験	専用器具を使って、園内の樹木に登り、木とふれあいながら、樹上から景色を見渡せる特別な体験を提供（18名／回@3,000）		春～ 夏	1	96,000	54,000
(4) 野球場を活かしたスポーツ振興、利用促進							
2	横浜 DeNA ベ イスターズ野 球教室	小学生を対象とした野球教室を開催		4～ 11月	45	0	1,000,000
3	野球場冬期開 場サービス	冬期における野球利用のニーズに応え、冬期閉場期間中の一部を開場（延べ24コマ@2,600）		冬	8	0	70,000
(5) 多世代で楽しく過ごせる環境作り							
4	地産地消マル シェ	地域の事業者による地場産農産物やパンの販売		通年	随時	0	48,000
5	キッチンカー	公園感謝 DAY 開催時にキッチンカーを誘致し賑わいを創出（@10,000）	○	11月	1	0	30,000
● 市民協働の取組・市民主体の活動の支援、地域人材育成							
(3) 地域とともに作る市民協働イベントの開催							
6	公園感謝 DAY	地域や団体と協働し、公園のお祭りイベントを開催		11月	1	170,000	70,000
● 地域課題を踏まえた事業提案、地域活性化への貢献							

(1) 高齢者の健康増進・交流促進の取組							
7	青空ヨガ	子どもから大人を対象に、リフレッシュできる機会を提供 (20名/回@500)		春・秋	6	60,000	60,000
合計						326,000	1,332,000

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務	内容	委託会社	年回数	実施月	備考
トイレ掃除	園内・管理棟のトイレ清掃	(特非)横浜市精連	362	毎月	—
污水管清掃	管理棟の污水管・桝の清掃	R8年度に見積合わせ	随時	未定	—
樹木診断・指導・技術・樹勢回復治療	樹木医による樹木の診断及び樹勢回復・剪定等	(特非)自然への奉仕者・樹木医協力会	1	未定	—
園地管理	園内植栽の管理	横浜市グリーン事業協働組合	通年	通年	—
水景施設清掃	沈殿施設等の清掃	R8年度に見積合わせ	1	未定	—
遊具精密点検	遊具の精密点検	R8年度に見積合わせ	1	未定	—
夜間緊急対応	夜間 一次緊急対応	R7年度に見積合わせ	随時	通年	—
冬期整備	耕耘アタッチメント装脱着	R8年度に見積合わせ	1	12～1月	—
篠原池デッキ防腐剤塗装等	篠原池デッキの防腐剤塗装	R8年度に見積合わせ	1	未定	—
消防設備保守点検	消防設備の点検	R7年度に見積合わせ	2	9、3月	—
自家用電気工作物保安	自家用電気工作物保安 月次点検 1回/月 年次点検 1回/年	(株)九州電業社	13	通年	—
園内灯設備・夜間照明施設保守点検	園内灯・夜間照明・時計設備の点検 巡視 1回/年、部品交換 随時	R7年度に入札	1	随時	—
防犯カメラ設備保守点検	防犯カメラの点検 月次点検 1回/月 半年点検 2回/年	三栄通信工業(株)	12	通年	
放送設備保守点検	放送設備の点検	R7年度に見積合わせ	1	未定	—
産業廃棄物処分	産業廃棄物の運搬・処分	(株)滝田商会	随時	通年	—
一般廃棄物処分	一般廃棄物の運搬・処分	R7年度に見積合わせ	随時	通年	—
年末年始巡回警備	年末年始中の園内巡視	R8年度に見積合わせ	6日間	12～1月	—

岸根公園 令和8年度 事業計画書

トラクター年次点検	トラクターの点検	(株)シンコー	1	8月	—
スズメバチ防除	ハチの巣駆除	R8年度に見積合わせ	随時	4～12月	—
ツリークライミング 体験会	体験会の開催及び運営	縁藤造園	1	5月	—

岸根公園 令和8年度 事業計画書

(事業計画書様式7)

収支予算書 (指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	48,571,000	0	48,571,000	0	48,571,000	
利用料金収入	3,010,000	0	3,010,000	0	3,010,000	
自主事業収入	1,332,000	0	1,332,000	0	1,332,000	
横浜市による運営支援	0	0	0	0	0	
横浜市による負担金	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	6,097,000	0	6,097,000	0	6,097,000	指定管理事業外の差引から6,097,000円を繰入
収入合計 (a)	59,010,000	0	59,010,000	0	59,010,000	
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	22,013,000	0	22,013,000	0	22,013,000	
給与・賃金	18,224,000	0	18,224,000	0	18,224,000	
社会保険料	2,433,000	0	2,433,000	0	2,433,000	
通勤手当	1,242,000	0	1,242,000	0	1,242,000	
福利厚生費	114,000	0	114,000	0	114,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	6,662,000	0	6,662,000	0	6,662,000	
旅費	21,000	0	21,000	0	21,000	
消耗品費	676,000	0	676,000	0	676,000	
会議賄い費	3,000	0	3,000	0	3,000	
印刷製本費	69,000	0	69,000	0	69,000	
通信運搬費	248,000	0	248,000	0	248,000	
使用料及び賃借料	60,000	0	60,000	0	60,000	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	60,000	0	60,000	0	60,000	
備品購入費	3,615,000	0	3,615,000	0	3,615,000	
保険料	45,000	0	45,000	0	45,000	
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	1,323,000	0	1,323,000	0	1,323,000	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	602,000	0	602,000	0	602,000	
自主事業費	857,000	0	857,000	0	857,000	
管理費	25,922,000	0	25,922,000	0	25,922,000	
光熱水費合計	6,499,000	0	6,499,000	0	6,499,000	
光熱水費 (電気)	3,941,000	0	3,941,000	0	3,941,000	
光熱水費 (ガス)	40,000	0	40,000	0	40,000	
光熱水費 (水道)	1,397,000	0	1,397,000	0	1,397,000	
光熱水費 (下水道)	1,121,000	0	1,121,000	0	1,121,000	
清掃費	3,732,000	0	3,732,000	0	3,732,000	
修繕費	3,091,000	0	3,091,000	0	3,091,000	
機械警備費	0	0	0	0	0	
公園及び公園施設設備保全費	12,600,000	0	12,600,000	0	12,600,000	
施設 (建物) ・設備保守	1,225,000	0	1,225,000	0	1,225,000	
園地管理費	6,775,000	0	6,775,000	0	6,775,000	
その他保全費	4,600,000	0	4,600,000	0	4,600,000	
公租公課	2,160,000	0	2,160,000	0	2,160,000	
公租公課 (事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課 (消費税)	2,156,000	0	2,156,000	0	2,156,000	
その他公租公課	4,000	0	4,000	0	4,000	
事務経費 (本部分)	1,396,000	0	1,396,000	0	1,396,000	
雑費	0	0	0	0	0	
支出合計 (b)	59,010,000	0	59,010,000	0	59,010,000	
差引 (a-b)	0	0	0	0	0	
(参考) 指定管理事業外の収支						
設置管理許可収入合計 (c)	51,680,000	0	51,680,000	0	51,680,000	
設置管理許可支出合計 (d)	37,442,000	0	37,442,000	0	37,442,000	
差引 (c-d)	14,238,000	0	14,238,000	0	14,238,000	6,097,000円をその他雑入に繰入

今年度の収支計画

- ・ 自主事業収入 1,100 千円以上
- ・ その他保全費 5,335 千円未満 (前年度予算 5,635 千円から 300 千円以上の減)

(事業計画書様式8)

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営1 (様式2:運営業務の実施計画・取組)	各ミッションに関する取組 (1) 緑・自然とふれあい、憩える公園の創出 (2) 利用目的に応じて楽しく過ごせるサービスの提供 (3) 地域との協働による安全・安心な公園づくり
業務運営2 (様式2:管理運営体制、人員の配置と研修計画)	・計画した人員の配置 ・研修・講習の実施 9件以上
業務運営3 (様式3:利用者サービスの向上・利用促進策)	(1) 花と緑による魅力づくりと多様な媒体を活用した発信 8件 (2) 自然とのふれあいを体感できる機会の提供 7件 (3) 緑の中で健康づくり!岸根ネイチャーアクティビティ 6件 (4) 野球場を活かしたスポーツ振興、利用促進 5件 (5) 多世代で楽しく過ごせる環境づくり 6件 (6) 利用者満足度アンケートの「総合満足度」の割合70%以上
業務運営4 (様式3:広報・プロモーションの取組)	・公園だよりの発行 年4回 ・メッセージボードを活用した情報発信 随時
業務運営5 (様式3:市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	(1) 地域に貢献し、地域の皆様の安全安心を守る公園づくり 6件 (2) 地域の皆様が活躍する公園管理の推進 6件 (3) 地域とともにつくる市民協働イベントの開催 1件
業務運営6 (様式3:地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	(1) 高齢者の健康増進・交流促進の取組 (2) 子育て世代に魅力的な公園への取組 (3) 地域の防犯、防災への取組 (4) 地域経済活性化への取組
業務運営7 (様式3:本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	(1) 国際園芸博覧会、横浜市SDGs未来都市計画等への貢献 (2) 「横浜市温暖化対策実行計画」など温室効果ガス削減への取組 (3) 市内中小企業優先発注
業務運営8 (様式4:公園の魅力を高める施設保全・管理)	・対象遊具の精密点検 1回 ・遊具の点検の実施 12回(月例) ・野球場定期整備 不陸整正 12回、草刈 15回
業務運営9 (様式4:施設(建物	・市の公園施設点検マニュアルに基づく点検 4回(通常3回、詳細1回)

等)、設備の維持管理、修繕計画)	・施設管理者点検マニュアルに基づく建物点検 1回 ・独自のチェックシートによる公園設備点検 12回 ・各設備の点検 電気工作物 12回、園内灯設備 1回、放送設備 1回、消防設備 2回、夜間照明施設 1回
業務運営 10 (様式4:樹木、植栽等の管理)	・国際園芸博覧会 PR ガーデンの管理 ・サクラ、ユリノキ、プラタナス等の定期的な巡視点検・樹木医による診断・治療 随時
業務運営 11 (様式4:巡視・清掃)	・巡視・清掃 毎日(年末年始を除く) 1日2回 ・特別巡視(気象警報発表時、震度5弱以上の地震発生時) 随時
収支 (様式7:収入確保、経費節減策)	・自主事業収入 1,100千円以上 ・その他保全費 5,335千円未満(前年度予算5,635千円から300千円以上の減)